

目次

·
青ューニー・デート (『撮要録』巻二十八「寺社之部児島・備中」所収) 長床六十三筐条式目(『撮要録』巻二十八「寺社之部児島・備中」所収)
电斗号下
#P 国 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
44
.
備中国小坂庄
美作国富美庄
備中国中津井庄
美作国建部庄
俳中国庭対郷
前口包套长序
昭昭生
第四章 荘園の風景
[コメント]
値中国代の重信 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
中国寺O协可
一 いわゆる「在地効果」論への批判的言及部分の検討 75
はじめに
第三章 毛利備中守隆元の官途と備中国侍の動向
三 宇喜多直家の生きた時代背景 ―「国務統治権限」をめぐって ―
二 直家幼少期に関する著述(論文・通史的叙述・小説)
直家幼少期に関する著述(近世)
はじめに50
第一章 宇喜多直家の幼少期とその時代背景
四 吉備地域の村と民衆の規範意義
三 美作国塩湯郷地頭職後藤良貞の掟書と置文27
二 備前国金山寺領の竹木伐採の禁 — 禁制と置文・起請文 —17
一 中世前期における法と裁判の一態様 — 備前国可真郷本免田所職相論 —
第一章 中世吉備の法と規範1
第一部 断想録・中世の吉備 9
はしかき

四 (書評)植田信広「鎌倉幕府の殺害刃傷検断について」	三 (書評)岡 邦信「置文と一門支配」(『北九州大学法政論集』第二一巻第四号)	一 (書評)上杉和彦「鎌倉幕府と官職制度 — 成功制を中心に — 」(『史学雑誌』九九編一号)	一 (書評)河内祥輔「御成敗式目の法形式」(『歴史学研究』第五○九号)	第三章 『法制史研究』所載書評	第二章 日本史研究者と女子短大生の見た「文明の衝突」論	むすびにかえて	**` 時代的前提としての「日本固有法」「日本法理」の時代	論文「南九州における南北朝内乱の性格」 付 荘園(若狭国太良庄)研究	一 人物研究「蓮如」	はじめに	第一章 揺籃期の「井ケ田法史学」	第Ⅱ部 断想録・広義の法観念	四 『図説美作の歴史』から	公開講座要旨(二) 中世吉備が生んだ文学者	三 公開講座要旨(一) 日本文化の中の権威 — 中世官職名に探る —
				:											
	255	251	248	247	231	219	208	201	196	194	193	191	186	178	172

清 清 房 宣 賢 を めぐって ····································	・・・「一: (1) (1) (1) (1) (2) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	はしめに	終章 そして序章へ 三つの断想	※66、 1 ~1 ~1 ~1 ~2 ~2 ~2 ~2 ~2 ~2 ~2 ~2 ~2 ~2 ~2 ~2 ~2		同 「御成敗式目九条成立の前提 ― 平安遺文・鎌倉遺文の『謀叛』 用例の検討から ― 」	(書評) 古澤直人			
					「吉備地方文化特論」から	社、二〇〇五年三月)	八〇〇五年三月) 八九九年四月)	例について」(『名古屋芸術大学研究紀要』二〇巻)― 平安遺文・鎌倉遺文の『謀叛』用例の検討から ― 」	15 15 15 15 15 15 15 15	五 (書評) 菱沼 憲 鎌倉幕府地頭御家人制の形成と追討使」(『国史学』一五九号)

初出一覧